



「秋風に たなびく雲の 絶え間より もれいずる月の 影のさやけさ」

左京大夫顕輔

秋の夜長、ポーと月をながめてみませんか。なかなかいいものですよ。



スマホと親子関係について

みなさんの家庭では、家族で一緒にいるときにスマホはどのようにしておられますか。「それぞれがスマホを操作している」「一緒にいるときには、みんな話合い、スマホの操作はしない」、どちらでしょうか。どちらがいいのかは、みなさん、お判りでしょう。

以前の青少年育成センターだよりで、「レストランで、料理が運ばれてくるまで、家族で会話はせずにそれぞれがスマホを見ている」という光景を紹介しました。残念ながら、このような光景はよく見られるのです。

国立青少年教育振興機構が、小中学生のインターネット利用と親子関係の実態を調査した結果を「インターネット社会の親子関係に関する意識調査－日本・米国・中国・韓国－（平成30年7月）」に載せています。そこに考えさせられる実態がありましたので、ここで紹介をします。

- 日本の小中学生は、家族が一緒にいてもそれぞれが自分の携帯電話やスマートフォンを操作していることが「よくある」と回答した割合が2割を超え、4か国中最も高かった。親と話そうとするとき、親は「時間がない」「いま忙しい」などと言うことが「よくある」「たまにある」と回答した割合は4割で、こちらも4か国中最も高かった。
- 日本の小中学生は、インターネットの危険性や利用におけるマナーなどについて、親から「ほとんど注意されない」と回答した割合が約3割で、4か国中最も高かった。
- 4か国とも「親は携帯電話やスマートフォンを使用しながら私と話す」ことが「よくある」と回答した者ほど、「家族が一緒にいてもそれぞれが自分の携帯電話やスマートフォンを操作している」ことが「よくある」と回答した割合が高く、「家族と食事やだんらんのときでもよく携帯電話を操作する」肯定率も高かった。また、日本と中国では、「親は携帯電話やスマートフォンを使用しながら私と話す」ことがあると回答した者ほど、親と話すのが「とても好き」「親と一緒にいるのが好きだ」、家族と一緒にいるのが「とても楽しい」とした割合が低かった。

考えさせられる結果です。スマホによって、親子関係や家族関係が壊されていくように感じます。子どもの声には、しっかり耳を傾けてやるのが大切なのは、みなさんわかっておられることでしょう。

子どもといるときや家族団らんのときは、スマホは手元におかないことを原則にしましょう。子どもよりスマホが大切だと考えている親はいません。でも、子どもは自分が一生懸命に話をしているときに、親がスマホを操作していると、自分に対する愛情を感じることができません。親が自分よりスマホのほうが大切なのだと勘違いをするのです。

上手に、スマホに関わっている親の姿を見せることが、子どもが上手に使えることにつながります。

(文責＝青少年育成センター指導員 藤村)